

組織的な若手研究者海外派遣プログラム派遣研究者・学生募集要項

【理工農系】サステナブル社会の実現に貢献する自然科学系国際的若手研究者の育成プログラム

1. 目的

グローバルな複合的問題に挑戦しようとしている若手研究者・大学院生を海外の学会および研究機関へ派遣し、深い専門性を持たせるとともに広島大学の国際化を加速・進展させる。

2. 対象者

広島大学に在籍する原則として42歳以下^{注1)}のポスドク、助教、講師および大学院生(博士・修士)。日本学術振興会のPDおよびDCを含む。(日本学術振興会の「海外特別研究員」、「外国人特別研究員」、「優秀若手研究者海外派遣事業」のいずれかに採用されている者は除く。)

※科研費等外部資金で雇用されている者については、申請前に国際交流Gまで相談願います。

3. 派遣の内容

次の5つの派遣について、その費用を助成する。

42歳以下の若手研究者(講師・助教・ポスドク)の派遣^{注2)}

- a) 2ヶ月の海外研究機関への長期派遣
- b) 学会発表・サマースクールなどの数日から4週間(学会後の講演旅行も支援する)の短期派遣
大学院学生の派遣
- c) 1ヶ月の海外研究機関への短期派遣
- d) 海外での学会発表などの1週間~2週間の短期派遣
大学院学生派遣(上記c)の派遣)に伴う指導教員(教授・准教授・講師・助教)の派遣
- e) 大学院生の研究力育成および国際研究ネットワーク形成拠点に係る短期派遣

※予算の都合上、助成対象とする派遣は原則として上記のとおりであるが、若手研究者については2ヶ月以上の派遣(最大1年間)、大学院生については1ヶ月以上(最大3ヶ月)を希望する場合も申請を受け付ける。

4. 応募方法

派遣を希望する者は海外派遣申請書により応募する。大学院生については指導教員からの評価書を必要とする。申請書は広島大学若手研究人材養成センターホームページ(<http://www.hiroshima-u.ac.jp/wakateyousei/kaigaihaken/rikono-kei/>)からダウンロードすること。

○申請書提出先(平和・国際室国際交流グループ: rihaken@hiroshima-u.ac.jp)

※申請書をPDF化(カラー使用可)の上、メール添付にて上記提出先に提出。このメールアドレス以外での申請は受付できませんので、ご了承ください。

5. 選考プロセス

1次審査(書類審査)および2次審査(選考委員会)で選考する。平成24年度の選考は1年に4回開催予定。2次審査は研究者については、英語による面接、学生については書類および英語による面接により採否を決定する。

	平成24年度第1回①	平成24年度第1回②	平成24年度第2回	平成24年度第3回	平成24年度第4回
選考委員会日程	3月初旬	4月初旬	6月初旬	9月初旬	12月初旬
派遣開始日	平成24年4月(*)	平成24年5~6月(*)	平成24年7~9月(*)	平成24年10~12月(*)	平成25年1~3月(*)
申請締切日	平成24年2月10日	平成24年3月2日	平成24年5月7日	平成24年8月6日	平成24年11月2日

(*)ただし平成24年度については、派遣終了日(帰国日)を3月9日までとする

6. 助成の金額

派遣の内容に対する助成金額は以下のとおりである。

- ・学会発表・サマースクール(若手研究者及び大学院生) 200,000円(上限額)
- ・1ヵ月間(大学院生) 500,000円(上限額)
- ・2ヶ月間(若手研究者) 750,000円(上限額)
- ・指導教員海外派遣 300,000円(上限額)

7. 帰国後の報告

派遣者は帰国後に報告書(様式は広島大学ホームページからダウンロード)を提出すること。

8. その他プログラムに係る支援経費

若手研究者の本プログラム派遣に伴う不在中の支援を学長裁量経費により行う。対象となるのは、2ヶ月以上派遣されるポスドク以上の若手研究者であり、支援内容はTA・RA雇用、非常勤講師の補填、派遣者への語学研修サポート費用とする。派遣者が講師・助教の場合にあっては、教務補佐員、技術補佐員、技能補佐員等(それらに相当する職)の雇用も認める。本支援経費を希望する場合は、各部署の担当者へご連絡願います。

注1) 42歳以下とは、派遣対象者が派遣開始される年度の4月1日現在43歳未満の者。また「原則として42歳以下」とは42歳を超えるものであっても、事業の趣旨から派遣することが妥当であり、事業の成果に貢献することが期待できると判断される場合には、派遣開始年度の4月1日現在46歳未満の者を選考対象とする。

注2) 若手研究者については、可能であれば2カ月の派遣に応募するのが望ましい。